

5 助産師

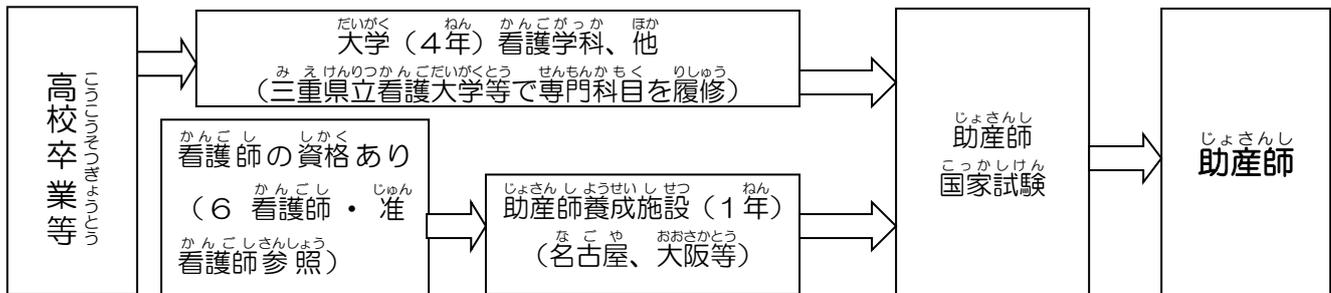


助産師は女性しかできない職業です。仕事内容は、お母さんが無事赤ちゃんを出産できるように援助する仕事です。看護師の資格も持っているため、看護師としての仕事をすることもあります。保健所で地域の妊婦さんや赤ちゃんの援助をするなど、広く女性の生活に関わる仕事です。

子どもをうまく育てられないお母さんへの援助や自宅訪問、赤ちゃんが出来ない夫婦、10代の妊娠・中絶や思春期の性の相談など、その活躍の場は広がっています。

日本語を話せないお母さんにとって、言葉の通じる助産師が身近にいることは心強く、これからますます大切な仕事となるでしょう。

助産師になるには



<早くから準備をしましょう>

助産師になるための学校や専門学校に入るには、高い日本語能力や学力が求められます。早くから日本語や学校の勉強、母国語の上達に心がけましょう。

<資格を取れば どのところに就職できるの？>

病院や診療所の産婦人科、助産院、保健所、地域の保健センター等です。人手不足が続いている職業なので、就職できる機会が多く、独立して助産所を開業することも出来ます。年収は約500万円です。

<費用(学費)はどれくらい？>

公立大学で年間60万円以上、公立助産師養成施設も年間60万円ほどかかります。